住宅太陽光　初期費用０に向けて群馬県が業者からプラン募る　Dfile2021.6（下）上毛21.6.28

群馬県は太陽光発電などによる再生可能エネルギーの普及拡大に取り組んでおり、住宅の所有者が初期費用をかけずに太陽光発電設備を設置できるプランを周知する。住宅用の太陽光発電や蓄電池などの導入は、多額の初期費用が掛かることが問題となっている。一方、事業者は導入の初期費用がゼロになるビジネスモデルを展開しているが、県民に多く知られていない。このような中、県がプランを審査し、選んだ事業を「官民共創事業」として周知する。

同様の事業は、東京都や神奈川県でも導入されている。

【東京都議会　議事録】

令和元年度各会計決算特別委員会第３分科会(第５号)　本文 2020-10-23　小川地球環境エネルギー部長

住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進事業は、昨年度から開始したものでございます。事業者は、リース、電力販売などといった事業プランを登録し、住宅所有者のニーズに合った太陽光発電システムの設置サービスを提供することにより、一キロワット当たり十万円の助成を受けることができます。

　なお、助成に当たっては、住宅所有者に対し、事業者からのサービス利用料の低減等を通じまして助成額を全額還元することを要件としております。

【東京都の取り組み】

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2021/04/01/07.html>

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/initial-cost0>

「住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進事業」

東京都は、初期費用ゼロで太陽光発電を設置するサービスに対し助成する事業を令和元年度から実施している。

住宅所有者の初期費用無しで太陽光発電を設置するサービスを提供する事業者に対し、設置費用の一部を助成する。住宅所有者の初期費用負担のハードルを下げることで、東京都内における太陽光発電の更なる設置促進を目指す。